挨拶文

日本学生卓球連盟

会 長 河田 正也

一般社団法人日本学生卓球連盟理事会及び監事の皆さん、そして関係者の皆さん、2023年度事業活動の運営・管理に精力的に取り組んで頂き有難うございました。あっという間の1年でしたが、コロナ第５類感染症への移行もあり、する人・見る人・支える人が一層一体感をもって、学生卓球界を盛りあげていく年になったと思います。

皆さんの力で以下の主要イベントを成功裏に実現できたことは大変喜ばしいことですし、9ブロック各連盟においても様々なイベントにむけ努力・工夫され活動の成果を挙げられたことに敬意を表します。

日学連の以下の主要イベントとしては、参加選手がハイレベルで熱戦、善戦を繰り広げて充実した内容となりました。海外交流の再開もできました。支援・サポートの皆さんの協力あってのことは言うまでもありません。

4月　日学連・高体連・日本リーグ合同強化事業（桐生市）

6月　日韓大学卓球交流戦・交流懇親会（東洋大赤羽台・ホテルエミオン）

7月FISUワールドユニバーシティ—ゲームズ（成都）

—２月代表選手選考会合宿（新潟市）、5月強化練習（トレセン）

7月　全日本大学総合・団体（横浜市）

9月　東北震災復興支援（青森県）

10月　全日本大学総合・個人（金沢市）

11月　全日本学生選抜（総社市）

11月　ポーランド国際大会（団体戦・個人戦の**男女**とも日学連選手優勝）

社団法人化して2年たちました。特にこれからの時代をになう学生幹事の皆さんは、スポーツガバナンス、スポーツインテグリティについても時々思い起こしてください。卒業後どの分野に進んでも、新しい時代に即したガバナンスやインテグリティの視点は役に立つと思います。

日学連アゴラを開始して2年目の後半に入りました。学生、OB、OGの皆さんの声が聞こえるようで、みんなが自由に語り合える意見交換・共有のWEB上の広場として、これからも有効に活用されることを願っています。HPも活用しやすく充実してきたと思います。

結びに、3年間　日学連会長として（その前に1年間顧問として）、日学連で皆さんとともに活動できましたことは私にとっては、大変新鮮で貴重な経験、そして学びの場でした。全く未経験の領域でしたが、何とかここまでやってこられましたのも、皆さんのご指導・ご協力のおかげとしかいいようがありません。深く感謝いたします。

幸いにして、引き継いで頂く中村守孝新会長は、卓球愛、若々しさ、明るさ、行動力を備え、これからの日学連を牽引されるにふさわしい方ですので、皆さん一体となって日学連を一層盛り上げてください。

日学連のサステナブルな（持続可能な）発展と皆様のご活躍・ご健勝を願っています。